

慶應義塾大学 文学部

倫理学専攻

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

倫理学専攻は、古今東西の思想家たちとの対話を通じて人間の生き方を探究すること、思想家の精神的創作活動の場としての文化の本質を問うこと、そして、近現代の自然観や生命観、人間観や社会観を問い直すことを理念としてかけ、これらの理念にもとづいてカリキュラムを編成し、教育を実施している。

倫理学専攻は、所定の単位を修得し、卒業論文を執筆・提出し合格した学生に対し、下記の能力があるものと認め、学士（哲学）の学位を授与する。

1. 人間の生き方を探究する視点と方法を確立するために必要とされる、倫理学の主要理論に関する基本的な知識を習得している。
2. 倫理学の主要文献を原語で正確に読解するために必要なレベルの外国語（原則として独・仏・英）を習得している。
3. 多様な倫理思想・宗教思想についての理解を深め、人間の根底に迫るとともに、多文化社会における人間の生のあり方を反省することができる。
4. 科学技術の発展や環境破壊、戦争、グローバル化など、現代社会の身近な問題を手がかりにして、近現代の自然観や生命観、人間観や社会観を問い直すことができる。
5. 倫理学上重要な理論とそれに関する先端的研究について、一定の知識を有している。
6. 人間の生き方や社会のあり方について考察すべき問いを自らの関心に従って選択し、それに対する解答を首尾一貫して提示することができる。

学修の最終成果である卒業論文（卒業試験）は次の審査項目を満たすものとする。

1. テーマ・問題意識が明確である。
2. 先行研究を踏まえている。
3. 方法が目的に適っている。
4. 内容が論理的で一貫している。
5. 形式が学術論文として適切である。